

2021年(令和3年)度の管理運営状況等について



－ 目次 －

1, 第Ⅲ期 2021年度	P7
2, 賑わい創出について	P8
(1)イベント	
(2)ロケーション撮影	
(3)独立型店舗	
(4)広告事業	
(5)オープンカフェ	
(6)その他 活性化施策	
3, 現場管理(警備・清掃・イベント管理)	P14
4, 収支(2021年度実績見込)	P17
参考資料	
2021年度イベント・ロケーション撮影紹介	P21

1, 第Ⅲ期 2021年度について

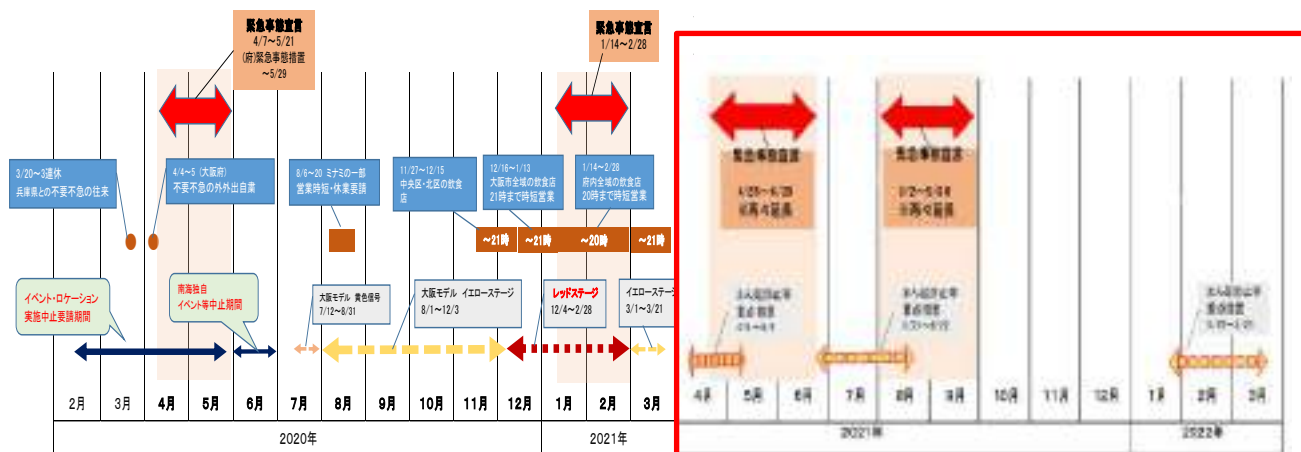
大阪府では、新型コロナウイルス感染症の流行および感染拡大防止によって、本年度開始時からまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発出などで、賑わい創出を柱とした収益事業にも多大な影響を受けました。(図1 参照)

飲食店では、休業、酒類の提供時間制限・時短営業や会食人数の制限などといった協力要請のため、とんぼりリバーウォークの各所では特に夜間帯において多人数で飲食をされるグループが散見され、また一部で報道されていましたが、人通りが少なくなると「グリ下」と言われる戒橋のたもとで少年・少女中心の若者が集まったり、外国人同士のトラブルによる痛ましい事件なども起こりました。

しかしながら、地域の方々によるエリアの活性化に向けた熱い想いとご尽力により、「道頓堀リバーフェスティバル」、「道頓堀川万灯祭」や「中央区にぎわいスクエア」など、with コロナでの工夫された開催内容・運営対応など、規模縮小や開催順延で苦慮された状況でも開催に繋げていただきました。

南海電鉄としても、とんぼりリバーウォークでの新たな魅力の創出となるべく、地域回遊性促進の一拠点を目指して「シェアリングサービス」による新規施策の試行実施に向けて邁進しましたが、管理運営で受託している河川敷エリア内に認定道路があることが判明し、遊歩道の利用ルールが該当しない規制により中断を余儀なくされるなど、まだまだ規制に対するハードルの高さや課題が浮き彫りになった年でもありました。

そのような状況下ですが、来るべき国内外からの来街者の復活に向けて、四季折々の花の魅力を活かす花壇づくりや直面する課題に対処しつつ、活性化と収益に繋がる新たな施策などに継続して取り組み、引き続き訪れたいと思われる美観・環境を維持しながら安全・安心な管理運営に努めます。



＜図1 新型コロナウイルス感染症対応策 概要(大阪府)＞

2. 販わい創出について

本年度もイベント開催、ロケーション撮影など新型コロナウイルス感染症拡大防止による自粛などで、上期・下期とも件数が大幅に減少しました。

反面、2019 年度からの取り組みが功を制した形になった広告利用は、安定的に推移するなど、本年度の各項目の見込件数は、以下のとおりです。

< イベント等の実施状況一覧 >

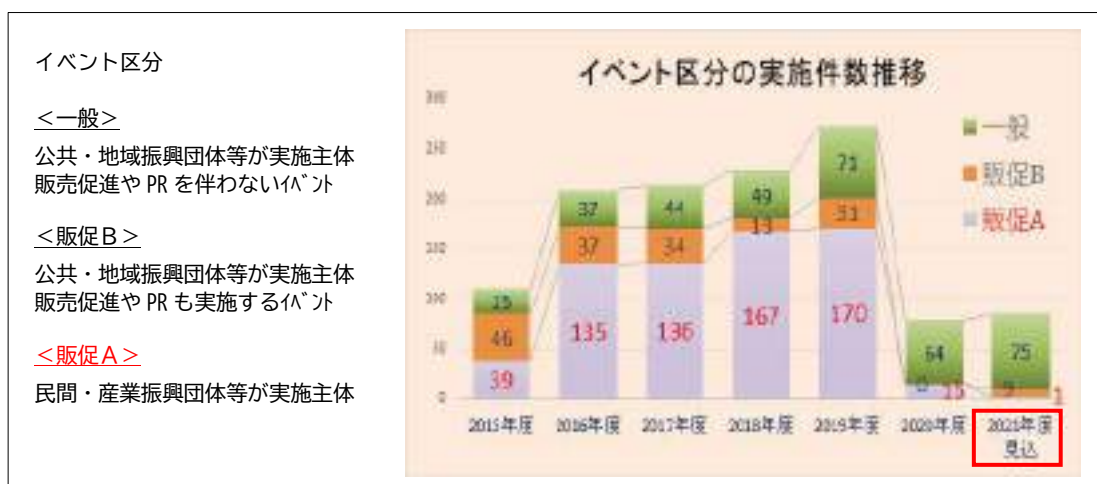
	第Ⅰ期			第Ⅱ期				第Ⅲ期								
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度			2020年度			2021年度 見込		
								上期	下期	計	上期	下期	計	上期	下期	計
イベント実施件数	60件	62件	90件	110件	209件	214件	229件	195件	17件	212件	23件	59件	79件	36件	49件	85件
ロケーション撮影件数	8件	10件	27件	11件	31件	28件	48件	18件	11件	29件	8件	7件	15件	7件	12件	19件
独立型店鋪出店件数	—	—	—	1件	1件	2件	1件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
広告利用件数（月単位の積算）	1件	2件	0件	1件	3件	0件	0件	7件	16件	23件	16件	14件	30件	12件	12件	24件
オープンカフェ契約店（最多月）	8店	13店	17店	22店	31店	38店	44店	45店	45店	45店	33店	32店	33店	17店	25店	25店

(1) イベント

2020 年度と同じく、大阪府市からのイベント開催自粛要請もあり、本年度のイベントはパネル展示、イルミネーションなどの常時設置によるものが中心となりました。そのため、地域等主催によるイベント、南海電鉄の地域活性化イルミネーションを除く所謂「販売促進A(販促A)」にあたる件数は、2019 年度の最高実績数となる 170 件に比べ、本年度は1件の実施で終わる見込です。

< 販促Aの主な減少要因 >

- ◆イベントスペースの利用自粛要請（緊急事態宣言措置による要請）
- ◆開催直前での利用変更リスクの敬遠
（企画⇒開催までの過程でコロナ情勢により直前で内容変更・中止が発生するリスク）
- ◆PR等費用対効果の低下（周辺を含めた通行者・来場見込が想定以下）



< 図2 年度別イベント区分の実施件数推移 >

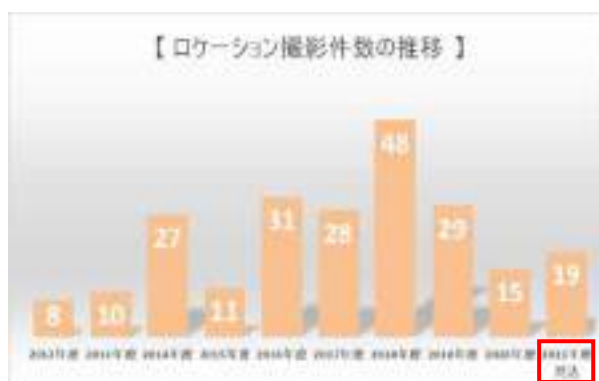
(2)ロケーション撮影

本年度もテレビ番組や恒例のドラマ撮影などで「とんぼりリバーウォーク」をご利用いただきましたが、ここ数年で少し変化している事象として、WEB 用の CM や動画撮影が増加しています。近年、撮影機材も安価でスマートフォン等小型カメラで行うケースもあり、誰もが簡単に動画投稿ができるようになったことで、撮影時に法人によるPR等営利広告目的での撮影か個人での投稿用かの違いが判明しにくい点と、個人でも投稿により利益をあげるもの等があり、撮影により利用料を得ている立場としては、新たな岐路にあると認識しています。

ただ、個人投稿によるPR効果も見込めるという側面もあるため、大阪市と連携しつつ対応を引き続き検討したいと考えています。

【2021年度に実施されたロケーション撮影の一例】

- | | | |
|-----------|--|--|
| ●テレビ番組 | 日本テレビ
読売テレビ
関西テレビ放送
毎日放送 | 「女芸人 No.1 決定戦 THE W 2021」
「あさパラS」
「報道ランナー」
「関西ジャニ博」 |
| ●ドラマ撮影 | 関西テレビ放送 | 「新・ミナミの帝王」 |
| ●映画撮影 | haiku#87 | |
| ●テレビCM | エナジードリンク CM
任天堂 CM
TeeRex CM、 | |
| ●WEB 動画撮影 | 日本紹介動画(ドバイ万博用)
地域PR動画(阪神堺PR)
アパレルショップ WEB CM | など |



(3)独立型店舗

湊町エリア(左岸)での利用に向けた営業活動を継続し出店調整を進めかけていましたが、冒頭でのコロナ禍も相まって白紙となりました。来年度については、大黒橋エリアで新たな活用事例とすべく、企画を詰めて実現を目指したいと取り組んでいます。

(4) 広告事業

2019 年度から新たに導入した新ロングボード広告枠の各効果が如実に現れました。

- ① 年度ごとの固定広告収入による一定の底上げ効果（安定収入）
- ② 来場者によるSNS投稿等による「とんぼりリバーウォーク」の宣伝効果（PR効果）
- ③ 広告による遊歩道への来場者増加による賑わい創出（来場動機）

特に②③の効果により、イベントなどと違ったリバーウォークへの新たな誘客策として、非常に有効になっていると実感しています。

また、リバーウォークで14ヶ所設置されている Information ボードの一部分を広告枠として継続活用し、継続して広告収入が得られました。ただ、残念ながらウォールアートでの企業PRアート広告は実績に結びついていませんが、引き続き新たな利活用スタイルを立案しつつ、収益確保による安定的な事業と話題喚起での賑わい創出に結び付けたいと思います。



新ロングボード広告枠



Information ボードを活用した広告枠



危険行為への注意喚起

とんぼりリバーウォークの利用促進案内

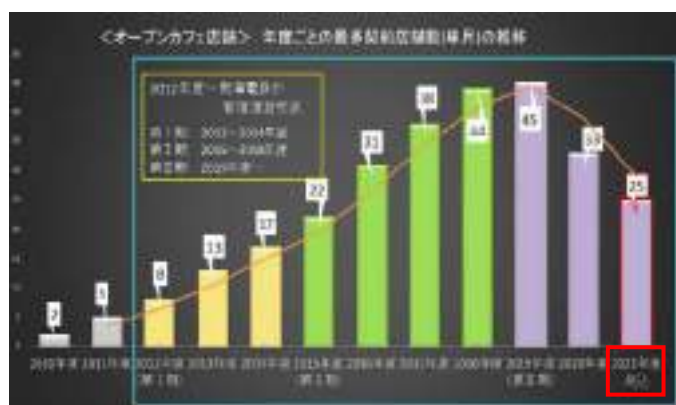
(5) オープンカフェ

本来であれば遊歩道への来場(誘因)動機にも繋がり、恒常的な賑わいをもたらす沿川店舗とあわせて一時的な賑わいをもたらす「イベント開催」や「ロケーション撮影でのPR効果」との相乗効果で来場に結びつけるところでしたが、本年度も新型コロナウイルスの影響により、オープンカフェ利用契約に直結する『飲食店への営業自粛・時間短縮』などの影響が顕著に現れました。さらには時短等の状態が長期化しているため、オープンカフェを利用されない店舗、移転や閉店されるケースも前年度から増加しました。(表①②参照)

反面、新規でオープンされる店舗も増加していますので、少しずつ状況が変化している兆しと受け取りつつ、さらなる利用促進施策を検討してエリア全体の活性化に努めたいと考えています。

※南海電鉄では、季節を問わず長期的な利用促進を図るべく割引制度を導入しています。(図4 参照)

- ・2013年度から「長期利用割引制度」(10～30%割引)
- ・2015年には「Wi-Fi(国内端末向け)設置割引制度」(5%割引・複数月割引との併用あり)



＜図3 オープンカフェ 1ヶ月における最多契約店舗数の推移＞



＜図4 オープンカフェ契約期間別件数推移＞

＜表①＞

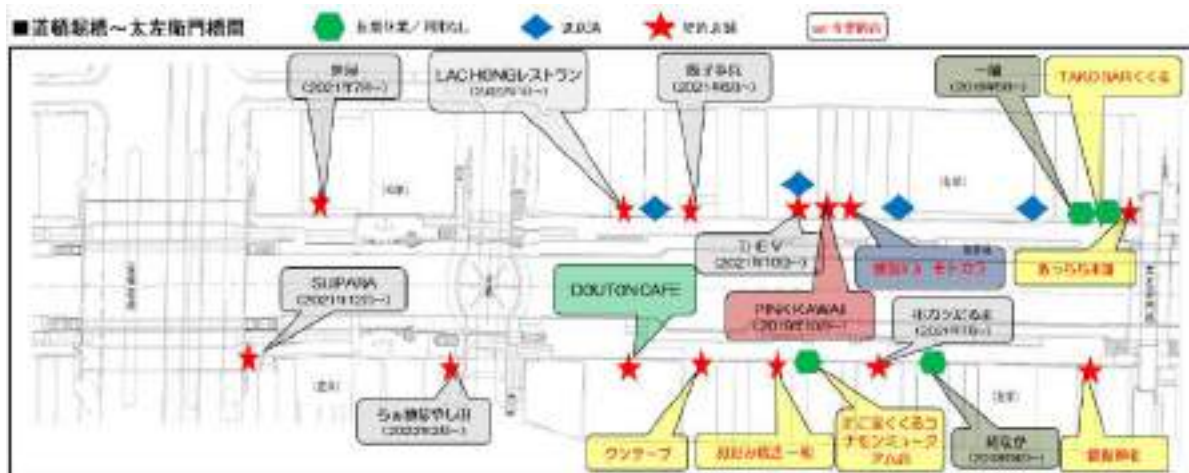
オープンカフェ 月別契約(契約)店舗数										2020年度
月別	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
4月	4	5	10	17	24	31	35	42	36	9
5月	4	5	10	18	27	31	37	42	31	9
6月	4	11	16	19	37	34	37	42	31	10
7月	4	11	16	20	28	31	32	44	31	18
8月	4	11	15	21	31	31	38	44	31	18
9月	4	11	15	21	31	31	43	45	31	18
10月	4	11	15	20	38	31	43	45	31	22
11月	3	11	15	19	29	31	44	45	31	22
12月	4	11	17	21	28	31	42	44	31	16
1月	3	11	15	20	26	31	41	40	29	16
2月	3	11	15	19	26	31	42	41	29	15
3月	3	11	15	18	34	31	41	40	29	15
年間累計	36	44	163	256	332	408	473	515	389	218
前年度	34	44	50	36	71	70	73	148	148	148

＜表②＞

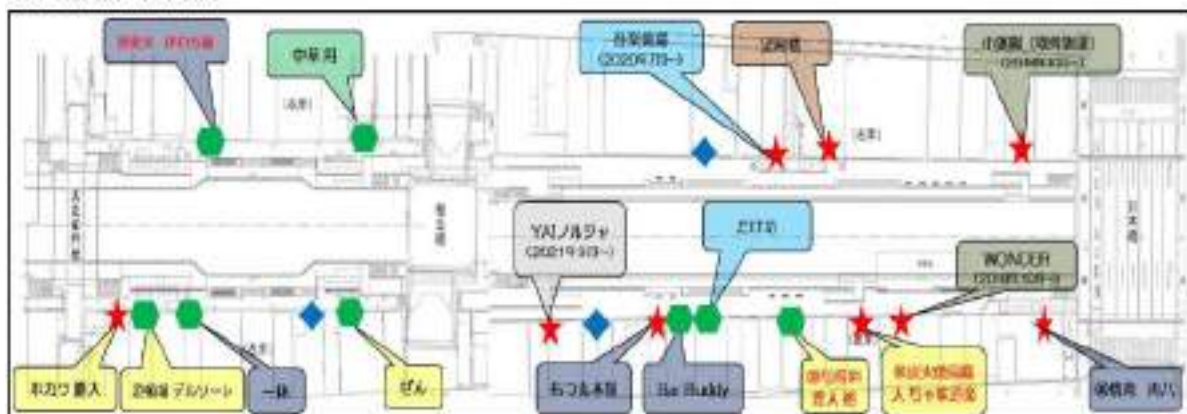
オープンカフェ 新規契約店舗件数										2020年度
月別	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
4月	1	1			2	1				1
5月	1	1			3	1	1			1
6月			1	1		4			1	1
7月		1	1	1	2		2			1
8月			1	1	3	1	1			1
9月	2	1	1				3			1
10月				1	1	1	4	1		1
11月	1		1	1			1			1
12月	2		1	1						1
1月		1								1
2月							1			1
3月										1
合計	8	7	4	6	12	10	10	4	1	1
前年度	-1	-1	-1	-2	-5	-2	-3	-2	-15	-20

凡例：

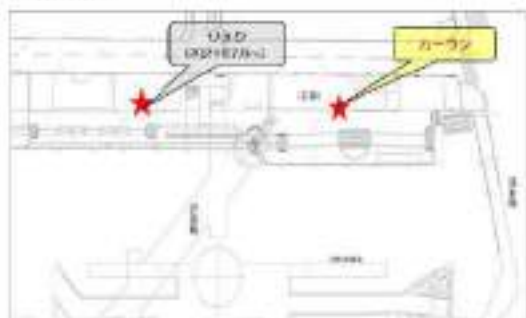
2021年度 新規3店舗 開店1	2020年度 新規1店舗 開店11	2019年度 新規4店舗 開店1	2018年度 新規10店舗 開店2	2017年度 新規10店舗 開店2	2016年度 新規12店舗 開店3	2015年度 新規7店舗 開店2	2014年度以前 17店舗
---------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	------------------



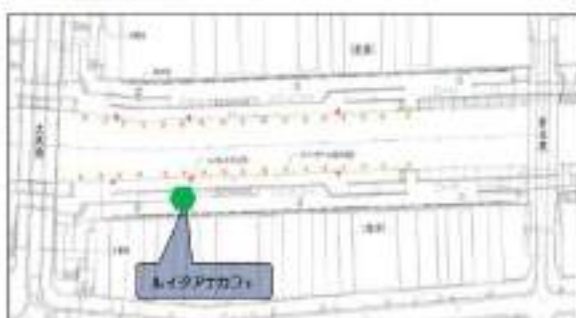
【道頓堀橋～太左衛門橋間】 右岸7店舗(新規4)、左岸7店舗(新規3) 退店4



【太左衛門橋～日本橋間】 右岸3店舗、左岸6店舗(新規1) 退店3



【浮庭橋～深里橋間】 右岸2店舗



【大黒橋～新戒橋間】 左岸 1 店舗

(5)その他 活性化施策

①中央区による賑わいパネル展示 2020年10月～

江戸時代から令和にかけての道頓堀を紹介した「いまむかし」や、まちが育んできた芸能・文化・今日の賑わいの様子などを紹介する大型パネル(多言語解説あり)計30枚に集約し、大阪市中央区役所主催により設置しています。このパネル展は、左岸(南岸)で開催しています。



②イルミネーション（地域活性化貢献事業費） 2021年10月29日～2022年3月6日

2019年度で実施した道頓堀橋下の通路への装飾は、通路の常時開放もあり通年で設置し、東西回遊性向上の継続テストを行っています。

新型コロナ禍により、周辺も含めた通行者の減少で、特に夜間では、ライトアップの明かりによる防犯対策面にも意識し、西側エリアで展開しました。「大阪・光の饗宴2021」のエリアプログラム「まいどおおきに！大阪ミナミ光マッセ！」にも参加しています。



大黒橋のライトアップ



大黒橋付近のフォトスポット



道頓堀橋下通路装飾

③道頓堀橋下通路 常時通行の実施 2020年8月～

閉門により深夜帯の東西往来を制限していた通路の門扉開閉について、2019年11月から、段階的に開門時間を試行延長し、2020年8月から常時開放に繋がりました。24h開放による課題・支障は現状ありません。



<道頓堀橋下の通行可能時間の変更歴>

- 2019年10月以前 05:00～24:00 19h 通行可 (00:00～05:00 閉門)
- 2019年11月以降 05:00～25:00 1h 延長通行 (01:00～05:00 閉門)
- 2020年8月以降 00:00～24:00 5h 延長通行 (24h 常時開放)

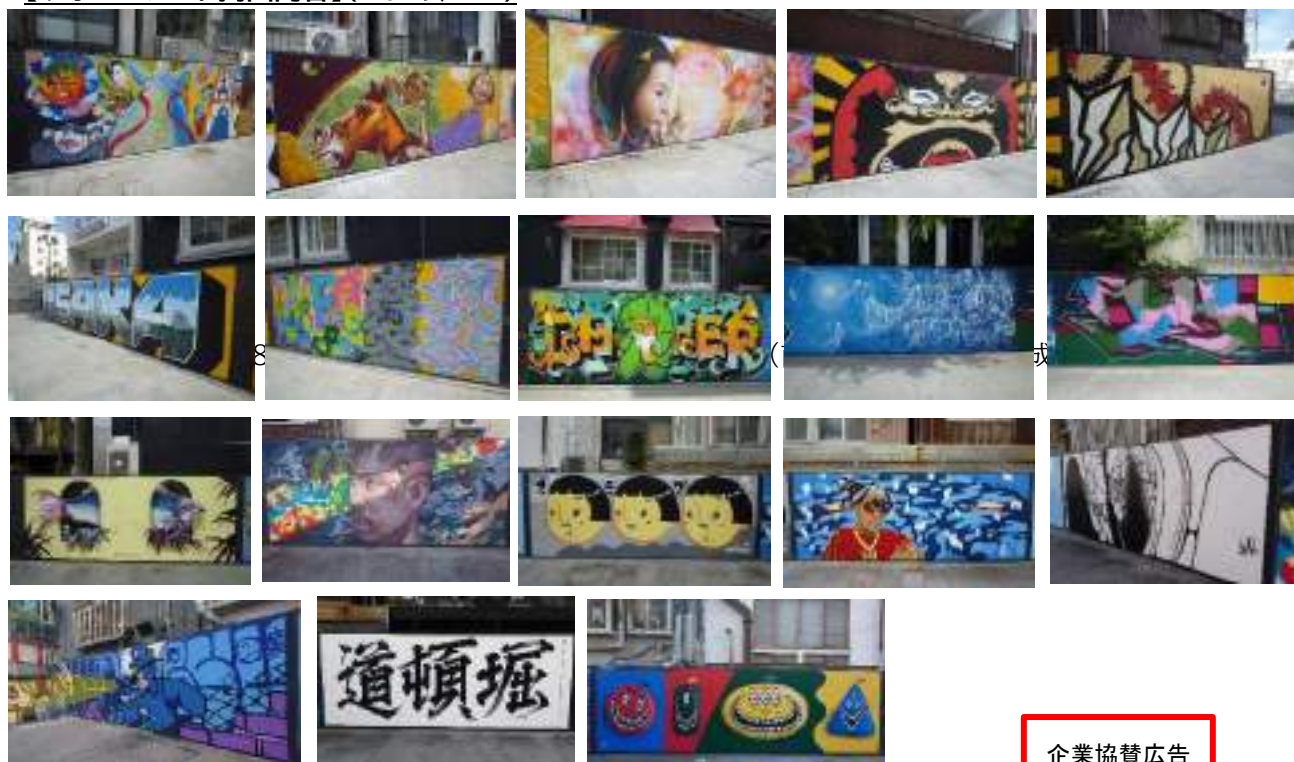
＜表③ 開門延長時間の通行量推移（道頓堀橋下の兩岸(南北岸)通路）＞



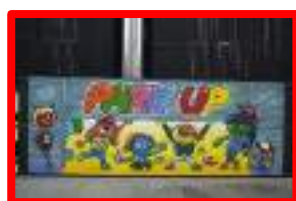
④ウォールアート(道頓堀アート) 大黒橋～新戎橋 間 2019 年 7 月～

西側エリアの落ち着いた空間に、2019 年度から推進しているウォールアートは訪れる方に身近にアートを感じていただける場所になっています。本年度の東西の回遊性向上とエリアの魅力度を向上させています。

【ウォールアート掲出内容】(2019/7～)



企業協賛広告



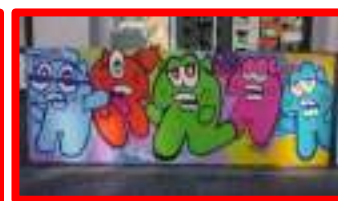
＜akippa 協賛＞



＜南海電鉄 協賛＞



＜OLFA 協賛＞



＜TUDOR 協賛＞

3, 現場管理(警備・清掃・イベント管理)

とんぼりリバーウォークでの基本的な警備業務内容

- ・事故・トラブルの未然防止と安全確保ならびに初期対応、警察・消防への緊急通報
- ・破損施設等の一次保全活動
- ・不法占用の情報連携
- ・防犯カメラによる映像監視等を含めた 24 時間の警備体制
- ・定期的な巡回警備 など

遊歩道での異常覚知時や迅速な対応を求められる緊急時には、現場での一次的な対処と警察や消防へ通報・連携を図ることも重要となり、遊歩道運営に携わる警備担当者は、安全かつ適切に業務を履行すべく、定期的な研修等に参加し資質の向上に研鑽しています。同様に、遊歩道で業務を行う清掃担当をはじめ、イベント等での現場管理担当者らも事故防止等の安全遂行と快適な空間創出のため、業務区分に応じた研修等により意識更新を図っています。

さらに、異常時情報は警備事務所で一元管理し、迅速な初期対応がとれる体制と、南海電鉄担当者と現場管理の各責任者で構成する定例会議において、諸問題の情報共有とその対策検討など、安全かつ適切な遊歩道管理を日々推進しています。

その他、遊歩道の課題でもあるゴミ散見問題。美化向上を目指し、前年度同様に年間265日にわたり清掃を実施し、清掃日以外にも南海電鉄の担当者にて自主清掃を行っています。以前は、エリアの美化推進と地域の方々にも「とんぼりリバーウォーク」への関心をいつまでも持っていただけのようにとの思いを込めて、地域の関係者に呼びかけ、共同での清掃活動に協力をいただいていたましたが、本年度も新型コロナ禍により活動は自粛しています。



緊急時における警察官への連携

<維持管理での課題と対応>

- (1) 冒頭でも記載のとおり、遊歩道での多人数での飲食や戒橋のたもとに深夜でも未成年者が集まるなど、社会情勢によって課題も変化しています。事件被害等への未然防止も含めて警備担当者による注意喚起や対話、警察官の巡回強化を図っていただいています。



警察官による巡回の様子(戒橋下)

- (2) 近年、問題となっている遊歩道でのスケートボード利用は、通行者等への危険な行為だけでなく施設破損や騒音等が発生するため、ピクトグラムを活用した掲示や行為を発見次第、警備担当者の声掛けによる注意指導に取り組んでいます。ただ、多人数でのグループで行っている場合や日本語が理解できない方も多く、警備担当者に対する第三者行為被害もあるため交番と連携を図っています。



ピクトグラムを用いた禁止掲示



- (3) 毎年恒例となっているハロウィンやカウントダウンでの戒橋等からダイブなどの危険行為や雑踏警戒につきましては、地元との情報交換、所轄警察署と事前会議を開催するなど対応策の調整と連携を行っています。



年末の戒橋周辺(2021. 12. 31)

- (4) 遊歩道での飲食後のゴミ放置。近年は、コンビニエンスストア等からの持ち込みにより空き瓶や食べ残しを含めた残置物が多く、ベンチや階段付近に集中している状況です。残置物があるとカラスやネコなどが周囲にまき散らすこともあるので、ゴミ散乱が酷い場合には夜間や早朝巡回時の警備担当者の助力も得ながら環境美化に努めています。また、企業団体等も独自で清掃活動を行っていただいています。



- (5) 約1ヶ月ほど前から、広範囲にわたる遊歩道および周辺において、鳥の糞害が発生しています。数年前には、ユリカモメやサギなどでも同様の被害がありましたが、今回は大型で集団行動する「カワウ」が飛来し、西側を中心(湊町エリアから戎橋付近)とした全域で糞の被害が出ています。近隣ビルの高所などからも糞をするので被害箇所も広範囲にわたり、清掃担当の床面洗浄だけでは対処ができず、河川・渡船管理事務所による高圧洗浄機での糞除去と床面等洗浄を行っていますが、すぐに汚れます。抜本的な対策は困難ですが、対応を大阪市と検討中です。



4, 収支（2021 年度 実績見込）

利用料収入について、前年度に続きイベント開催の自粛要請等による影響を受け、ロケーション撮影以外での減収となりましたが、広告収入とオープンカフェ利用料が収入を下支えしました。（図 7,8）

費用につきましては、人件費や委託料などの費用、地域活性化への貢献費も圧縮しつつ、イルミネーションで冬季の活性化策として費用拠出しました。（表④）

収支としましては、一昨年度ぶりの黒字見込となりました。（別表参照）



<図 5 利用料収入推移 2012~2021 度見込>

<2021 年度 収支見込の概要>

収 入： ○ロケーション撮影件数増。

○イベント販促A実施減、広告利用減、オープンカフェ契約店舗減。

費 用： ○委託料：契約料減額改。

○人件費は、組織改正のタイミング(上期)で3名→2名に減。(付帯人件費を含む。)

★地域活性化貢献事業費

●拠出見込額 約 1,000 千円 イルミネーション



<図 6 収入推移 2012~2021 年度見込>

<表④ 利用料収入と貢献事業費推移>

年度	利用料収入	地域活性化 貢献事業費	比率
2012	3,500	10,000	286%
2013	4,000	4,214	50%
2014	4,000	3,510	88%
2015	4,000	4,092	102%
2016	4,000	8,782	219%
2017	4,000	6,886	172%
2018	4,000	4,357	109%
2019	4,000	6,282	157%
2020	4,000	3,588	90%
2021 見込	4,000	1,000	25%
合計	40,000	50,940	127%
平均値	4,000	5,094	127%

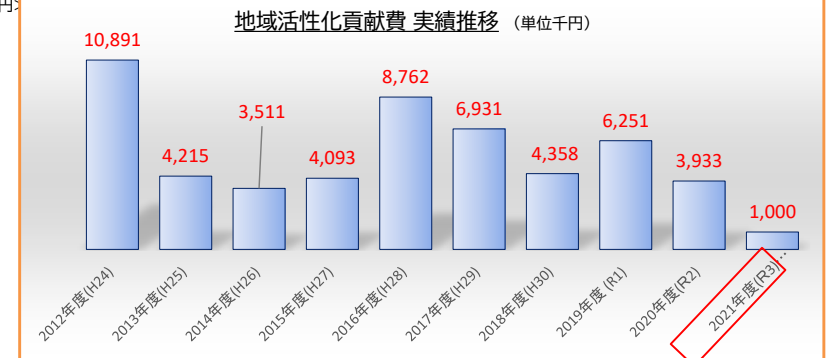
とんぼりリバーウォーク管理運営業務に関する 2021年度 収支実績見込

別表

【実績比】		(税抜 単位:円)												補足説目
	2019年度[実績]	2020年度[実績]			2021年度[実績見込]			前年度比						
		上期(D)	下期(E)	年度(F=D+E)	上期(D)	下期見込(E)	年度(F=D+E)	上期(G=D-A)	増減率(H=G/A)	下期(I=E-B)	増減率(J=I/B)	年度(K=F-C)	増減率(L=K/C)	
業務受託料	31,310,000	15,655,000	15,655,000	31,310,000	15,655,000	15,655,000	31,310,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
広告	5,240,000	5,280,000	360,000	5,640,000	5,070,000	210,000	5,280,000	▲ 210,000	▲ 4.0%	▲ 150,000	▲ 41.7%	▲ 360,000	▲ 6.4%	※ウォールアート広告減
イベント	8,120,892	64,496	1,215,905	1,280,401	390,400	84,746	475,146	325,904	505.3%	▲ 1,131,159	▲ 93.0%	▲ 805,255	▲ 62.9%	※新型コロナウイルス感染症防止対策での減(イベント自粛等)
ロケーション撮影	1,572,600	382,000	341,500	723,500	378,000	856,000	1,234,000	▲ 4,000	▲ 1.0%	514,500	150.7%	510,500	70.6%	※撮影件数増
オープンカフェ	11,116,372	3,792,516	4,881,707	8,674,223	3,707,323	4,801,842	8,509,165	▲ 85,193	▲ 2.2%	▲ 79,865	▲ 1.6%	▲ 165,058	▲ 1.9%	※店舗休業・時短等要請(自粛要請含む)による減
船着場利便施設	309,960	154,980	154,980	309,960	154,980	154,980	309,960	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
独立型店舗	396,900	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	
営業収益(利用料収入計)	26,756,724	9,673,992	6,954,092	16,628,084	9,700,703	6,107,568	15,808,271	26,711	0.3%	▲ 846,524	▲ 12.2%	▲ 819,813	▲ 4.9%	
業務受託料+営業収益	58,066,724	25,328,992	22,609,092	47,938,084	25,355,703	21,762,568	47,118,271	26,711	0.1%	▲ 846,524	▲ 3.7%	▲ 819,813	▲ 1.7%	
河川占用料金	545,200	535,600	0	535,600	561,050	0	561,050	25,450	4.8%	0	#DIV/0!	25,450	4.8%	
警備料	16,158,000	8,923,800	8,923,800	17,847,600	8,923,800	8,923,800	17,847,600	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
清掃料	2,868,600	1,611,774	1,611,774	3,223,548	1,611,774	1,611,774	3,223,548	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
諸経費等	30,507,118	15,086,020	14,318,984	29,405,004	12,853,273	10,695,870	23,549,143	▲ 2,232,747	▲ 14.8%	▲ 3,623,114	▲ 25.3%	▲ 5,855,861	▲ 19.9%	
人件費	23,493,853	11,804,557	11,126,107	22,930,664	10,252,484	8,300,000	18,552,484	▲ 1,552,073	▲ 13.1%	▲ 2,826,107	▲ 25.4%	▲ 4,378,180	▲ 19.1%	※組織改正(第20～)での人員減 3名→2名
備用品費	42,303	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	
委託料	5,742,000	2,871,000	2,871,000	5,742,000	2,070,000	2,070,000	4,140,000	▲ 801,000	▲ 27.9%	▲ 801,000	▲ 27.9%	▲ 1,602,000	▲ 27.9%	※イベント管理:契約内容見直しでの削減
広告宣伝費	391,930	180,000	180,000	360,000	180,000	180,000	360,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
通信運搬費	95,887	64,060	58,716	122,776	62,324	60,000	122,324	▲ 1,736	▲ 2.7%	1,284	2.2%	▲ 452	▲ 0.4%	
損害保険料	120,450	56,870	56,870	113,740	56,870	58,870	115,740	0	0.0%	2,000	3.5%	2,000	1.8%	
雑費	163,824	600	0	600	0	0	0	▲ 600	▲ 100.0%	0	#DIV/0!	▲ 600	▲ 100.0%	
その他	88,000	75,029	0	75,029	199,107	0	199,107	124,078	165.4%	0	#DIV/0!	124,078	165.4%	※初期イルミ等除却費
諸税・減価償却	367,553	33,904	26,291	60,195	32,488	27,000	59,488	▲ 1,416	▲ 4.2%	709	2.7%	▲ 707	▲ 1.2%	
費用計	50,078,918	26,157,194	24,854,558	51,011,752	23,949,897	21,231,444	45,181,341	▲ 2,207,297	▲ 8.4%	▲ 3,623,114	▲ 14.6%	▲ 5,830,411	▲ 11.4%	
営業損益(1)	7,987,806	▲ 828,202	▲ 2,245,466	▲ 3,073,668	1,405,806	531,124	1,936,930	2,234,008	269.7%	2,776,590	123.7%	5,010,598	163.0%	
地域活性化貢献費(2)	6,251,487	807,000	3,125,950	3,932,950	0	1,000,000	1,000,000	▲ 807,000	▲ 100.0%	▲ 2,125,950	▲ 68.0%	▲ 2,932,950	▲ 74.6%	※冬季イルミ
損益(1)-(2)	1,736,319	▲ 1,635,202	▲ 5,371,416	▲ 7,006,618	1,405,806	▲ 468,876	936,930	3,041,008	186.0%	4,902,540	91.3%	7,943,548	113.4%	

【地域活性化貢献事業費】(当社が地域活性化への貢献事業として支出した費用)

	年度実績	上期	下期	
2012年度(H24)	10,890,973	5,555,579	5,335,394	上期:とんブラ2012 <4,422千円>、千日大法会 <1,133千円> 下期:イルミ <2,910千円>、とんぼり乾杯バルフェスタ <2,425千円>
2013年度(H25)	4,214,600	2,630,000	1,584,600	上期:とんブラ2013 <2,630千円> 下期:イルミ <1,585千円>
2014年度(H26)	3,510,511	2,147,006	1,363,505	上期:とんブラ2014 <1,425千円>、絵画展示 <174千円>、植栽イベント <548千円> 下期:イルミ <1,102千円>、植栽イベント <262千円>
2015年度(H27)	4,092,698	2,547,130	1,545,568	上期:プランター植栽 <517千円>、絵画展 <180千円>、とんブラ2015 <1,850千円> 下期:イルミ <1,200千円>、植栽イベント <346千円>
2016年度(H28)	8,762,250	2,787,250	5,975,000	上期:植栽関係 <465千円>、絵画展 <323千円>、とんブラ2016 <2,000千円> 下期:イルミ <2,000千円>、春節イベント<3,675千円>、植栽関係 <300千円>
2017年度(H29)	6,930,545	4,166,580	2,763,965	上期:植栽関係 <510千円>、とんブラ <2,002千円>、南海京阪J駅 <1,500千円>、絵画展 <155千円> 下期:イルミ< 2,000千円>、植栽関係 <194千円>、万博誘致広告製作等 <570千円>
2018年度(H30)	4,357,819	1,766,969	2,590,850	上期:植栽関係 <550千円>、とんブラ <1,080千円>、絵画展 <138千円> 下期:イルミ< 2,200千円>、植栽関係 <261千円>、万博誘致広告撤去 <130千円>
2019年度(R1)	6,251,487	1,135,987	5,115,500	上期:植栽関係 <883千円>、とんブラ <69千円>、絵画展 <184千円> 下期:イルミ< 4,800千円>、植栽関係 <316千円>
2020年度(R2)	3,932,950	807,000	3,125,950	上期:植栽関係 <807千円> 下期:イルミ< 2,390千円>、植栽関係 <736千円>
2021年度(R3)見込	1,000,000	0	1,000,000	下期:イルミ< 1,000千円>



【とんぼり事業 損益】

	営業損益(1)	地域活性化貢献事業費(2)	単年度 損益(1)-(2)	各期での累計損益	累計損益
2012年度(H24)	▲ 350,710	10,890,973	▲ 11,241,683	▲ 11,241,683	第1期
2013年度(H25)	890,344	4,214,600	▲ 3,324,256	▲ 14,565,939	
2014年度(H26)	1,224,773	3,510,511	▲ 2,285,738	▲ 16,851,677	
第1期 計	1,764,407	18,616,084	▲ 16,851,677		▲ 16,851,677
2015年度(H27)	3,126,741	4,092,698	▲ 965,957	▲ 965,957	第2期
2016年度(H28)	9,440,680	8,762,250	678,430	▲ 287,527	
2017年度(H29)	9,431,159	6,930,545	2,500,614	2,213,087	
2018年度(H30)	6,727,380	4,357,819	2,369,561	4,582,648	
第2期 計	28,725,960	24,143,312	4,582,648		▲ 12,269,029
2019年度(R1)	7,987,806	6,251,487	1,736,319	1,736,319	第3期
2020年度(R2)	▲ 3,073,668	3,932,950	▲ 7,006,618	▲ 5,270,299	
2021年度(R3)見込	1,936,930	1,000,000	936,930	▲ 4,333,369	
第3期 計	6,851,068	11,184,437	▲ 4,333,369		▲ 16,602,398



2021年度 イベント・ロケーション撮影紹介

ア)、道頓堀川万灯祭

・深里橋～日本橋

- 開催日時／2021年7月1日(水)～8月31日(月) 各19:00～26:00
- 開催内容／道頓堀川遊歩道両岸に約1300の提灯が期間中毎日点灯
- 主催者／いっとこミナミ実行委員会



イ)、ドバイ万博用PR動画撮影

・道頓堀橋～戎橋

- 開催日時／2021年7月10日(土) 18:30～20:30
- 開催内容／ドバイ万博用大阪観光PR動画撮影
- 主催者／東武トップツアーズ



ウ)、OWNDAYS×ReZARD ギネスプロジェクト

・大黒橋～新戎橋

- 開催日時／2021年7月17日(土) 9:00～19:00
- 開催内容／OWNDAYS 心斎橋店でのギネス販売記録挑戦の待機場所および整理券配布
- 主催者／OWNDAYS 株式会社



エ)、道頓堀 復活フェス&コスプレ撮影会

・新戎橋～太座衛門橋

- 開催日時／2021年7月22日(木祝)～25日(月) 11:00～17:50
- 開催内容／ダンスイベント、音楽ライブ、ハンドメイド物販など
- 主催者／(一社)大阪活性化実行委員会、とんぼり春フェス実行委員会



オ)、映画「HAIKU#87」撮影

・戎橋～太左衛門橋

- 開催日時／2021年8月31日(火) 19:30～22:00
- 開催内容／映画CG合成用風景撮影
- 主催者／株式会社ジェイド



カ)、阪神堺地域 PR 動画撮影

・道頓堀橋～戎橋

- 開催日時／2021年9月26日(日) 17:30～20:00
- 開催内容／イギリス・フランス向け観光プロモーション用動画撮影
- 主催者／株式会社ブレイン (近畿運輸局)



キ)、YouTube 用ダンス動画撮影

・道頓堀橋～戎橋

- 開催日時／2021年11月6日(土) 6:30～7:30
- 開催内容／YouTube 投稿用ダンス動画撮影
- 主催者／株式会社21インコーポレーション



ク)、水都大阪ウィーク リバー・ザ・ワンダーパレード (スタンプラリー)

・浮庭橋～深里橋

- 開催日時／2021年11月6日(土)～7日(日) 10:00～16:00
- 開催内容／スタンプラリー・スタンプポイント設置
- 主催者／水都大阪コンソーシアム (株式会社キューベル)



ケ)、テレビCM用動画用撮影

・道頓堀橋～戎橋

- 開催日時／2021年11月6日(土) 16:30～18:30
- 開催内容／「スパシアンエナジードリンク」テレビCM撮影
- 主催者／株式会社y4クリエイト



コ) 道頓堀リバーフェスティバル 2021&にぎわいスクエア 2021

・浮庭橋～太左衛門橋

- 開催日時／2021年11月13日(土)～14日(日) 11:00～18:00
- 開催内容／音楽・ダンスやミナミの食を楽しんでいただくブースや物販など
- 主催者／(一社)大阪活性化事業実行委員会／大阪市中央区役所



サ) 日本テレビ「THE W」撮影

・浮庭橋～深里橋

- 開催日時／2021年11月28日(日) 13:30～15:30
- 開催内容／番組内インタビューシーン撮影
- 主催者／エポック株式会社



シ) 戎橋をすっきり丸洗い(戎橋筋商店街 体験博 2021)

・戎橋および周辺

- 開催日時／2021年12月12日(日) 8:30～9:30
- 開催内容／清掃活動
- 主催者／戎橋筋商店街振興組合



ス). サンタクルーズin大阪

・道頓堀橋～太左衛門橋

- 開催日時／2021年12月12日(日) 13:00～18:00
- 開催内容／アメリカンバイク展示・サンタからのプレゼント(お菓子)配布
- 主催者／NPO法人道頓堀水辺地権者会



セ). 道頓堀コスプレ祭2021

・道頓堀橋～太左衛門橋

- 開催日時／2021年12月12日(日) 10:00～18:00
- 開催内容／コスプレ撮影会
- 主催者／NPO法人道頓堀水辺地権者会



ソ). コンサートパンフレット用撮影

・道頓堀橋～戎橋

- 開催日時／2021年12月21日(火) 13:30～15:30
- 開催内容／コンサート配布用パンフレット・スチール撮影
- 主催者／株式会社グレース



タ). ゲーム会社テレビCM撮影

・戎橋～太左衛門橋

- 開催日時／2022年1月27日(木) 19:00～20:00
- 開催内容／テレビCMワンシーン撮影
- 主催者／株式会社CHANTO



チ). ファッション洋品ウェブCM撮影

・道頓堀橋～戎橋

- 開催日時／2022年2月10日(木) 13:30～14:30
- 開催内容／ウェブCMスチール撮影
- 主催者／バウプラス京都株式会社





おおさかし

大阪市かわまちづくり

【題名】「水の都・大阪」における道頓堀川の水辺整備と水辺空間利活用の制度要望、公民連携の多様な賑わいづくりによる、かわとまちが一体となった魅力的な水辺空間の創出

【河川】淀川水系・道頓堀川（一級河川）



かわまちづくりの特長

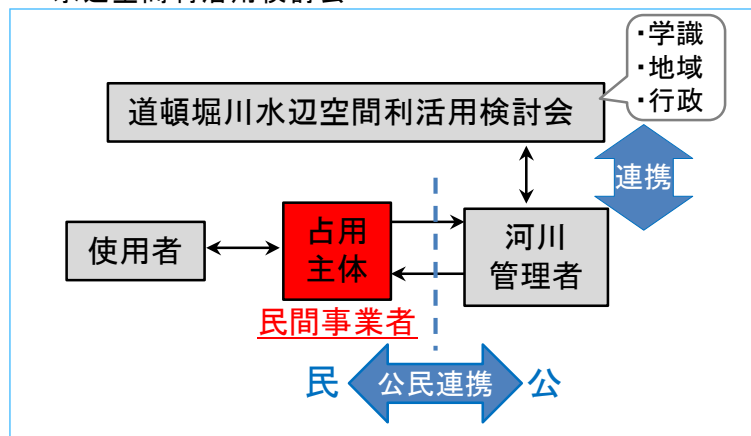
- 行政間の連携だけでなく、民間等による沿川地域の開発と連携した一体的な水辺遊歩道や橋梁、船着場等を整備することで個性的な水辺空間を創造している。
- 都市・地域再生等利用区域の指定により、公募で選定した民間事業者が包括的に占有しており、賑わい創出のために民間企業のネットワークや情報発信手法を駆使して、多様なイベント等を実施している。
- 学識・沿川地元代表者・行政からなる検討会において、地域住民や各種団体等の意見聴取を行い合意形成を図りながら、活動を行っている。

評価のポイント

- 道頓堀川は、全国に先駆けて先進的な規制緩和のスキームを使い、遊歩道を作って人の流れを変えたり、水辺空間や周辺の建築物を甦らせたり、舟運を実施してまちの中の水辺の価値向上を図ってきた。その活動実績は高く評価できる。
- 乗船している人と橋の上にいる人が互いに手を振り合うフレンドリーな光景や、川沿いのお店の雰囲気や看板・垂れ幕など、大阪らしい賑やかな雰囲気の醸成に貢献しており、高く評価できる。

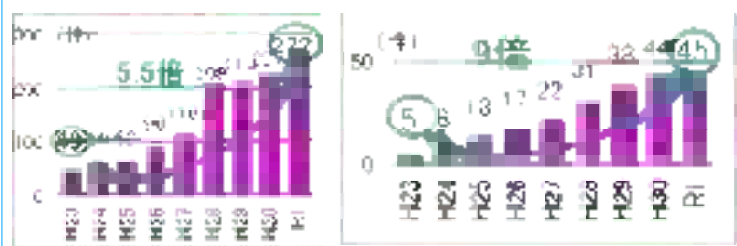
体制

- 推進主体：大阪市、南海電気鉄道株式会社、道頓堀川水辺空間利活用検討会



管理運営体制図

効果



イベント実施件数

オープンカフェ設置件数

問合せ先：大阪市建設局企画部河川課

TEL：06-6615-6839

E-Mail：la0028@city.osaka.lg.jp

表彰式当日の様子



日時：令和3年12月23日（木）
13時半～

場所：国土交通省 国土交通大臣室

参加者：◆斎藤鉄夫国土交通大臣
◆高橋徹副市長
（大阪市）
◆高木俊之代表取締役専務執行役員
（南海電気鉄道株式会社）
◆高橋勝彦代表理事
（ミナミ御堂筋の会）
◆長岡續会長
（高台連合振興町会）

